

## 報告

## 環境市民講座 開催報告

## 第2回環境市民講座「青葉山を学ぼう&amp;歩こう」



6月15日に東北大学理学部附属植物園にて東北大学理学研究科教授・植物園園長の鈴木三男氏から、講義室で植物園の歴史とその間の植生の変化について話していただきました。その後、植物園内を散

策しながら、実際に変化している植生を解説していただきました。参加者は思い思いの場所を散策ししっとりと雨に濡れた天然記念物に指定されている青葉山の自然を満喫していました。

参加者数：39名（内小学生7名）



## 第3回環境市民講座「アレルギーと化学物質～知っていますか化学物質の影響を～」

去る6月30日に塩竈市公民館にて、小児科医の角田和彦氏をお招きし、「アレルギーと化学物質～知っていますか化学物質の影響を～」が開催されました。

今回は塩竈市にお住まいのMELON会員などで実行委員会をつくり、企画の準備を進めて82名の参加という成功を収めました。

## ♪参加者の声♪

私たち人間の生活を便利に、より快適に、と生み出された溢れる程の化学物質。人間が化学物質を使い続けてきた歴



史は、同時に地球環境に深刻な変化を起こしてきた歴史でもあったのです。

角田先生のスライドによる資料は、危機的な状態に陥ろうとしている地球環境を生物たちの様子を通して次々と教えてくれたのです。なかでも、環境ホルモン等による『メスの貝がオス化』『オスの魚がメス化』『生殖能力が低下してしまったワニ』の報告は、平気で暮らしている私たち人間に対して「次はあなたたち人間の番だよ」という警告に思えてなりません。食物連鎖の頂点に立つ人間、このままでは赤ちゃんに母乳も飲ませられなくなるのかもしれない。どう暮らしていけばいいのでしょうか。

不安だらけの思いを軽くしてくれたのは角田先生の「汚染物質が体内に蓄積するのを少なくするカギは、食生活を見直すことです。」の言葉でした。昔から日本人に根付いてきた日本型食事のよさをしっかりと再認識しました。私はこの講座で学習したことを今、ひとりでも多くの人に伝えていきたいと思っています。次の世代に少しでもいい地球環境を残すために。

（塩竈市 志摩弘子さん）

## 第4回環境市民講座「田んぼのがっこう～田んぼと畑で遊んでみよう～」

緑・食部会では、7月6日（土）に、MELON会員であり県認定エコファーマー第1号でもある田尻町の佐々木陽悦氏の圃場にて、「自然を五感で感じよう」をテーマに「田んぼの学校」を開催しました。

「田んぼの生き物観察」として、自分で採ったミジンコ・藻（も）をルーペで観察し、「野菜の残留硝酸体窒素濃度の測定」として、「硝酸体窒素」を実際に測定し、どの程度野菜に残留しているのかを見ました。

今回の体験が、自然や農業の大切さを見つめなおす一つのきっかけになれば幸いです。

緑・食部会では、今年度も、様々な「森と農にうれしい」催しを開催する予定です。部会の活動にご興味のあるかたは、どうぞお気軽にお問い合わせください。（緑・食部会 三浦隆弘）

